

西浦校区コミュニティ協議会だより

電話：73-8641 ファックス：73-8648 平成29年11月15日 第16号

西浦の名所 明石山

火之宇都の北
標高483.5m

西浦で一番高い山は「明石山」です。火之宇都の北にありますが、小学校横の県道からもよく見えています。 蒲生郷土史には次のように掲載されています。



古代の軍事施設の一つとして烽（とぶひ）が設けられた。烽は「飛び火」とも書く。これは諸国の国府や軍団，重要な港や島に置かれて非常事態の合図に，昼は煙を掲げ，夜は火をたいて連絡したものである。烽間の距離は原則として，20km弱とされた。（中略）

蒲生町では，西浦の火之宇都の北にある「明石の岡」がその遺跡だと伝承されている。「明石の岡」は梯形をした山で，この山頂が平地となっており，烽の跡であるといわれている。烽の番人は2人ずつが当直に立ち，非番の者は火之宇都の我が家に居るのであるといわれる。「明石の岡」の山頂は明治以降，植林がなされ，烽の跡は破壊されて，今はその遺構を見ることはできない。

この「明石の岡」の烽を，始良町山田の飛野（とびの）で受けて，伝送したともいわれている。（蒲生郷土史より）

校区の方が十五夜で，明石山に住む「てんぐ」の話を読み聞かせをしてくださいました。ピアノとフルートの演奏もつけた素晴らしいものでした。

<「権現堂のてんぐ」の紙芝居の一部>



……明石山に移ったてんぐどんは，山の上の大岩の上に立ち，ときどき火をともしていたそうです。それが西浦の火之宇都からよく見えたといわれています。……